

市民の関心高く  
説明会終わる

気仙沼市が国・県の関係機関とともに開催した堤防説明会と意見交換会は、29日の大島会場で終了した。12会場で計約1200人も市民が訪れ、堤防計画に対する関心の高さが表れた。

最も多くの市民が集まったのは、大川と神山川の堤防を説明した条南中学校会場の180人で、最少は大沢漁港堤防などを対象とした本吉公民館会場の37人。反対意見が続出した会場もあった一方、堤防以外の質問が目立った会場もあり、地域によっての温度差がみられた。

今後、堤防を管理する市、県、国は、早急に集まって市民から出た意見や課題を整理し、対応を協議するという。そして、さらに小さな単位で地域に入り、住民との話し合いを重ねていくものとみられる。

菅原茂市長は、堤防整備に当たっての主な課題として①海水浴場の砂浜再生②河川堤防の高さの確認③海岸付近に商業施設や住宅があった場所の景観への配慮④奥行きのない浜への対応などを挙げている。